

5・12演説会

消費税に頼らない財政再建、「原発ゼロ」へ 希望ある日本をつくらう

あいさつする中川むつ子さん



去る5月12日、松竹芸能の元漫才師・清水ただし氏を迎え、彦根大上地域の日本共産党演説会を開催。今の日本の借金や年金財源などを考えると消費税の引き上げも、やむをえないのでは」と考える人もおられる中、私たちは、「消費税に頼らない別の道」もあるんだと分かってもらいたい、日本共産党の大事な役割を知ってほしい、との願いも込め、広く号外を配布。150人を超える方に直接声をかけ、甲良町からも多数参加していただきました。会場で81口・7万5千5百円の募金が寄せられました。

子どもと女性の幸せを

中川むつ子滋賀2区から福祉対策委員長は、「お金がない」ことを口実にした「県立高校切り捨てが許せない」「次代を担う子どもの教育こそ大切に」と決意した経緯にふれ、「財界応援・軍事同盟中心の政治から子育て応援、働く者と女性の幸せ応援の政治へ切りかえたい」と決意を表明。

政治を根っこから変えよう

「原発銀座」と呼ばれる福井で育った思いを述べながら、政府が「再稼働を認めなければ電気がなくなるぞと国



聴衆の拍手にこたえる中川むつ子さん（左）と清水ただし氏

民を脅し、不安にさせる日本は異常だ」と告発。「日本共産党は『原発ゼロ』の実現のため、みなさんと力を合わせます。政治を根っこから変え、消費税ストップなど国民要求を実現させましょう」と訴えました。

「オレの一票返せ！」

清水氏は、比例代表で4議席の獲得

なぜ今、消費税??

と、中川むつ子さんの勝利で「日本共産党の躍進に全力を挙げる決意を表明。年金給付の引き下げなど、民主党政権の数々の裏切りで、民主党に入れたオレの一票返せ！」と怒りが噴き出ていると告発。この中で、甲良町の介護保険料の上げ幅が県下一番であることも紹介。

日本共産党が提案している「消費税に頼らない道」のポイントをユーモアたっぷりに説明。政権に就いた直後には中止を決めていた八ッ場ダムを復活したことについて、「9000億円の無駄なダム。9000円、置くとちがいますよ。一万円札を平積みにして9000メートルですよ」と。無駄を続けながら「消費税10%」の矛盾を指摘。また、派遣労働を原則自由にしたことで貧困と格差が増幅された実態を、ラジオ番組のパーソナリティの経験を通して告発。「日米軍事同盟最優先」と「財界の利益中心」から抜け出せば、国民の権利とくらしを守る「ルールある経済社会」の展望が開けると訴え、「消費税増税で国民に痛みを押し付ける政治ではなく、税金の集め方と使い方を変えて、消費税に頼らない希望ある日本をつくらう」と呼びかけました。

橋下「大阪維新の会」の正体は?

また清水氏は、橋下・大阪維新の会の実態にふれ、彼が何をやっているかを見ればよくわかる。「敬老パスの有料化」「学童保育補助廃止」などに見られる弱者切り捨ての一方、財界・ゼネコンのもうけを優先する「古い自民公明政治の焼き直しの政治」だと正体をバクク口。維新の会はマスメディアが持ち上げるような「改革者」ではない、と糾弾。「思想調査のような危険な独裁と恐怖政治の全国進出を狙う勢力の根を断とう」と訴えました。

参加したFさんは「清水さんの話は、ほんまに楽しくて、特に橋下・維新の会の悪さ・ねらいがアホでも良く分かった」などの感想を寄せてくれました。

甲良民報

2012年5月20日 512号
発行責任：日本共産党甲良町支部
連絡：甲良町在土463（西澤）
Tel.Fax38-4949

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページもごらんください